田舎司祭の日記（1950）

JOURNAL D'UN CURE DE CAMPAGNE
DIARY OF A COUNTRY PRIES

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 115分
初公開日 2021/06/04
公開情報 マーメイドフィルム＝コピアポア・フィルム

【解説】

孤高の映画詩人ブレッソンの表現が精神の極みへと向って行く姿勢は、このごく初期の作品にも端的に見られる。それは悩み深き若い司祭を主人公にしているという表層からでなく、その懊悩を突き放すように客体化する、怜悧なまでの映像の力によって痛感させられるのだ。田舎司祭を取り巻く人々の聖と俗に揺れる姿が、彼の信仰にどう関わり、彼が自らどのような答えを出して行くかが、正に日記を綴る描写を挿し挟みながらスケッチされて行くが、彼は次第に懐疑的にならざるをえなくなり、健康をも害してしまう。ブレッソンのどの映画を見てもそうだが、描写の余りの潔癖さに、他のイメージに置き換えながら（詰まり自分流の翻訳をしつつ）見たくなるほど、純度の高い映画だ。2021年6月、「４Ｋデジタルリマスター版」にて本邦初の劇場公開が実現。

【クレジット】

監督	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson
原作	ジョルジュ・ベルナノス	Georges Bernanos
脚本	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson
撮影	Ｌ・Ｈ・ビュレル	L. H. Burel
音楽	ジャン＝ジャック・グリューネンヴァルト	Jean-Jacques Grünenwald
出演	クロード・レデュ	Claude Laydu
	ジャン・リヴィエール	Jean Riveyre
	ニコル・ラドラミル	Nicole Ladmiral
	マリ＝モニーク・アルケル	Marie-Monique Arkell
	アンドレ・ギベール	Andre Guibert
	ニコール・モーレイ	Nicole Maurey

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.